

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英 文 法 III (English Grammar III)	担当教員	鞍掛 哲治 (Kurakake, Tetsuharu)		
	教員室	図書棟 2 階 (TEL : 42-9058)		
	E-Mail	kurakake@kagoshima-ct.ac.jp		
	教育形態／単位の種別／単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分)〕×30 回			
〔本科目の目標〕 英語コミュニケーション能力に必要な基礎的英文法の知識を習得する。ドリルを通してより多くの問題に触れ、英文を正確に読み書きできることを目標とする。特に、ライティングは習得した英文法の知識を駆使して、100 語～200 語の 1 パラグラフのエッセイを書くことができることを目標とする。				
〔本科目の位置付け〕 本科目は英文法 I、II を復習しながら、より発展させた内容を扱う。また、英語 II の文法事項を解説し、演習を行う。英語のエッセイライティングの基礎を習得する。				
〔学習上の留意点〕 英文法 I、II で既習の英文法についての一般的な知識が必要です。また、英語の基礎的言語能力を養うためには反復が必要なので、ドリルを厭わず積極的な態度で学習することが臨まれます。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容	
1. Unit01-04 Essay Writing ① ―― 前学期中間試験 ― 試験答案の返却・解説	13 2	☐ 代名詞、動詞の変化形の用法を理解できる。 ☐ パラグラフとは何か、構成について理解できる。 授業項目 1 について達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解出来る。	当該の単元について、教科書及び参考書を前もって読み、概要を把握してくること。 また、授業中に小テストが実施される場合は、その範囲を学習し備えること。	
2. Unit05-08 Essay Writing ② ―― 前学期期末試験 ― 試験答案の返却・解説	13 2	☐ 語形変化形、前置詞の用法を理解できる。 ☐ パラグラフのいくつかのパターンを理解できる。 授業項目 1、2 について達成度を確認する。 ☐ 試験において間違った部分を理解出来る。		
3. Unit09-12 Essay Writing ③ ―― 後学期中間試験 ― 試験答案の返却・解説	13 2	☐ 接続詞、関係詞の用法を理解することができる。 ☐ 1 パラグラフのエッセイを書くことができる。 授業項目 2、3 について達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解出来る。		
4. Unit13-15 TOEIC Bridge 模擬試験 ―― 後学期期末試験 ― 試験答案の返却・解説	13 2	☐ 比較級、発展的な文法項目を理解できる。 ☐ TOEIC Bridge の出題内容・形式をたたく理解できる。 授業項目 3、4 について達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解出来る。		
〔教科書〕 TOEIC Bridge: First Steps to a Success 和田ゆり 南雲堂				
〔参考書・補助教材〕 改定新版英作基礎文例 600 啓隆社 UPO-NET オンライン教材 G-TEC for Students				
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験成績 (60%) + 小テスト及びレポート成績 (40%)				
〔本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連〕 2-b				
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕				
〔JABEE との関連〕				

Memo
